

# 潤うるおい

2007年  
10月1日発行

No.  
30



(財)潤和リハビリテーション振興財団

潤和会記念病院

病院長 呉屋 朝和

〒880-2112 宮崎市大字小松1119番地

TEL0985-47-5555 FAX0985-47-8558

<http://www.junwakai.com>

## 現在の医療環境と医療の不確実性について

潤和会記念病院 院長 呉屋 朝和



「日本の医療は崩壊しつつある」といわれています。医科大学医局制度の改革と日本の従来の保険制度の改革、が進められ、現在は新しい医療制度への転換期であるともいえますが、どういう形になるのか、なかなか先が見えない暗中模索の時代でもあるし、あるいは新しい時代の黎明期であるとも言えるでしょう。

1980年代に厚生労働省の考えとして、医療費抑制策が打ち出されました。その背景は、1)医療費が増え続けると社会保障費が増大する。2)医療費の増大よりも予防や健康管理の方に目を向ける。3)従来の出来高制であると必要以上の医療が提供される可能性が高い。これらの考えのもとに現在までいろいろな医療制度の改変が行われ、一般病院と家庭医との二極化への誘導、療養型病床の廃止への方向、老人保健施設や福祉施設、在宅療養への誘導、が進行中です。今までは、治るまで(?)病院に入院できていたのが、早期に病院から出て次の施設に行かなければならぬ、これらの政策は医療保険、介護保険財源が将来的に乏しくなることが考えられるので、医療費抑制策のために次々に確実に押し進められてきています。

そのために、実際の医療現場は極めて過酷な状況になっていきます。一般病床が重症管理病棟化してきて、病態が安定したら短日目で出て行かなければなりません。医療従事者側も制度の複雑化、書類の煩雑さに、悲鳴を上げています。看護師の配置数はアメリカの5分の1で、ほぼ同等の医療を続けていかなければならないのです。仕事の量は極めて増え、病院の医療従事者は「立ち去り」を余儀なくされるまで追い込まれています。制度に順応していかないと、医療機関も生き残っていきませんし、暗中模索の時代がさらに続きます。

医療の危険性、不確実性についてしばしば引用される有名な言葉があります。イギリスの詩人Popeの言葉でto error is human, to forgive divine. (誤るのは人、許すは神)、これは日本で有名になり「人は過ちをおかすものである」として医療安全や危機管理の講演会や医学雑誌でしきりに引用されています。医療事故、医療過誤、インシデントなどの報告義務化は、それらを反省材料として具体的な事故防止運動につながって行きつつありますが、乏しい人員の中で複雑化している日常業務を遂行しなく

てはならないので、くりかえす事故も後を絶ちません。医療従事者は病者を診た場合、己の持っている知識、技能でなんとかして救いたい、助けたい、という「惻隠の情」ともいべき体質を教育されています。現在はこれらの純粋な医療以外に配慮することが多すぎるように思います。

ところで、現在の改変された制度の中で、病院では医療安全管理者を置くように定められています。しかし、その役割はほとんど認識されていないように思われます。わたくしたちの病院でも制度上設置していますが、活動はこれからです。医療現場では死や障害は通常起きている現象であり、危険な場所であることは認識しなければなりません。また、医療は元来不安定、不確実なものとしてされています。臨床医学は手術症例数、治癒率、生存率など統計学として報告され認識されています。同じ疾患で同じ条件の患者に同じような治療や手術を行ったとしても結果は分散されます。当たり前のことです。臨床医学は、不確実でなにが起こるかかわからないともいえます。

一般の脳神経外科学会での講演の中で、虎ノ門病院の小松先生は最近の人の死生観に変化があると述べ、病院にはいったら、一安心で長生きできるといふ幻想があるといっています。しかし、人は必ず死すべき運命であることを認めるべきであり、不老不死ではあり得ません。悲観的な言い方をすると、たとえば、脳梗塞を一度起こすと再発します。明日再発するのか、3年後に再発するのか、いつ再発するのかは誰にもわかりません。アスピリン、パナルジンに始まり、シロスタゾール、プラビックス、どんどん新しい脳梗塞の薬が開発され市場に出回っていますが、不老不死の薬ではないのです。薬物は効果の反面、副作用も必ず潜在的に有しています。聖書によると、人は全く自然の食物を摂取していると160才くらいまで生存可能である、とありますが現実には不可能です。われわれは、農薬や防腐剤の入った食べ物を日常口にしていきますし、細菌やウイルスに感染します。できるだけ、有病率を少なくして、メタボリック症候群を予防して、としか言いようがないでしょう。当たり前のことですが、「皆さん、健康で長生きし、生活の質を良くしていきましょう」というのが今後の目標になっていくものだと思います。

# 最先端医療機器導入

## ●最新の3テスラMRI装置導入

当院では宮崎県初の超高磁場3テスラMRI装置；Achieva 3.0T [Philips社製]を導入することになり、平成19年12月に臨床運用を開始します。

導入される高性能MRI装置は、臨床MRI装置としては最高磁場強度の3テスラあり、通常使用の1.5テスラMRI装置の2倍強力となり、それに伴い信号強度が飛躍的に向上します。このことは、診断画像の画質向上と検査時間の短縮をもたらします。

今までわからなかった超微細な病変が鮮明に描出できるようになり、より精度の高い診断が可能となります。また、撮影時間の短縮により、検査を快適な環境で受けていただくこともできます。

国内でも設置台数の少ない最新の3テスラMRI装置を駆使して、皆様に最先端医療を提供すると共に、更なる医療の質の向上に努めて行きたいと考えています。

〈中央放射線室〉



3.0T-MRI装置 Achieva

## ●最新鋭放射線治療装置の導入

当院に最新鋭の放射線治療装置の導入が決まり、平成20年4月治療開始予定となっています。皆様には、記念病院N館東側の増築工事で何かと不便をおかけしておりますが、この増築中の建物に放射線治療装置が設置されます。

現在当院では、がんの治療方法として、外科手術、内視鏡治療、化学療法を行い成果をあげていますが、これに放射線治療を加えることにより、がんの集学的治療が可能となります。ますます患者様のために効果的な治療ができることを確信しております。

導入される放射線治療装置は、最新鋭かつ超高精度のバリアン社製 Trilogy で、九州で1号機です（全国で3号機）。この装置では、一般的な放射線治療はもちろんのこと、3次元原体照射治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療、画像誘導放射線治療など、最新のテクノロジーを駆使した超高精度の治療ができます（詳しくは次号で紹介します）。

平成20年4月から患者様にやさしい放射線がん治療ができるよう只今準備を進めておりますので、ご期待ください。

〈放射線治療室〉



最新鋭放射線治療装置Trilogy

# 平成20年度から健診制度が変わります

宮崎市は、平成19年度健康診査を平成19年6月1日～平成20年2月29日まで実施します。現在、当院外来においては、基本健康診査、肝炎ウイルス検査、前立腺がん検診、骨粗しょう症検診を実施しています。

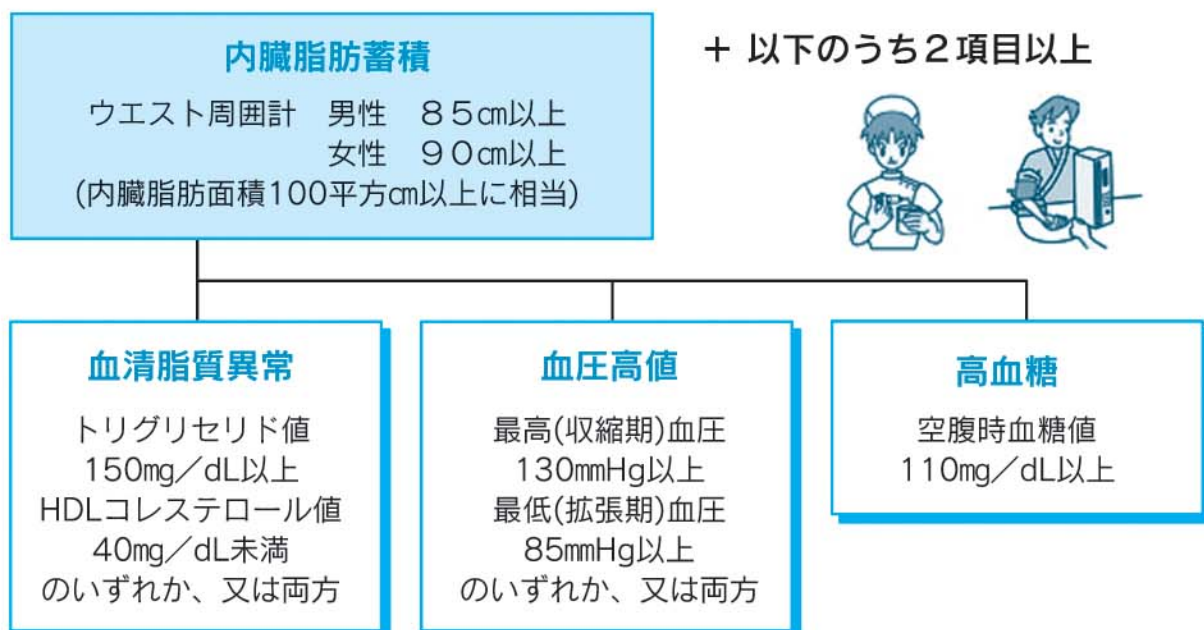
平成18年度からは、基本健康診査に加えて、生活機能評価をするようになりました。65歳以上の方が対象となります。この生活機能評価は、介護予防事業の対象となる特定高齢者（要支援・要介護状態となるおそれが高いと考えられる高齢者）を選定するために、宮崎市在住の40歳以上の基本健診対象者の中のさらに65歳以上の方に対して、基本健康診査時にチェックし、予防の対策をとっていきこうというものです。生活機能の評価内容は、日常生活関連動作、運動器の機能、栄養状態、口腔機能（飲み込み、唾液の出方など）、閉じこもり、認知症、うつに関する内容をチェック方式で評価し、生活機能に関する総合判定をし、介護の予防に役立てるというものです。

このように、宮崎市が行っていた健康診査ですが、平成20年度からは、医療保険者の被保険者、被扶養者に対して、医療保険者が実施するようになることが義務付けられます。これを特定健診・特定保健指導といいます。生活習慣病の予防対策として、**メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目することにより、早期に市民の皆様の健康づくりを進める**ものであり、将来的には医療費の伸びを抑制することにもつながります。

平成19年度以前	平成20年度以降
基本健康診査を宮崎市が実施	各医療保険者
宮崎市が受診案内を送付	加入している医療保険者が受診案内を送付
宮崎市が基本健康診査受診後の保健指導を実施	加入している医療保険者が特定保健指導を実施

## メタボリックシンドロームとは？

肥満に加えて、糖尿病、高脂血症、高血圧、高尿酸血症などの生活習慣病を複合した状態で、動脈硬化性疾患（心筋梗塞や脳梗塞など）の危険性を高める複合型リスク症候群を言います。



# みなさんこんにちは！

新しく来られた先生の紹介をいたします。

## 楠原 敏幸

(くすはら としゆき)67才

【担当科】 検診センター  
【出身大学】 熊本大学  
【趣味・特技】 学問  
【自己PR】 どうぞよろしくお  
願います!!



## 野津原 勝

(のづはら まさる)50才

【担当科】 内科・循環器科  
【出身大学】 長崎大学  
【趣味・特技】 スポーツは観るの  
も、実際にするの  
も好きですが最近思うように身体が動  
かなくなりました。  
【自己PR】 地域の方々の健康と福祉に少しでも貢  
献できるように頑張りますので宜しく  
お願いします。



## 宮田 史朗

(みやた しろう)37才

【担当科】 脳神経外科  
【出身大学】 宮崎医科大学  
【趣味・特技】 食べ歩き・温泉・  
キャンプ  
【自己PR】 日々努力して、一日も早く先輩方に近  
づきたいと思っています。



## 松山 勝哉

(まつやま かつや)35才

【担当科】 耳鼻咽喉科  
【出身大学】 九州大学  
【趣味・特技】 映画  
【自己PR】 耳鼻科のことなら  
どんどん相談して下さい。よろしくお  
願います。



## 記念病院 理念 「人間愛」

### 記念病院 基本方針

1. 患者様の人権と意思を尊重し、患者様の立場に立った医療を提供します。
2. 地域の中核的病院として、専門的且つ高度な医療を実践します。
3. チーム医療を推進し、より良い医療を目指します。
4. 豊かな人間性を兼ね備えた医療人を育成します。
5. 職員が意欲を持って働ける職場環境を作ります。

## あ と が き

私の大好物、サツマイモの美味しい季節となりました。私の故郷串間市大東はさつまいもの産地、スーパーの店頭にさつまいもが並ぶと、故郷を思い出します。大東原の真っ黒な土で育ったさつまいも、通称「甘藷」はとても甘く、ほくほくとして味が濃く、たまらなく美味しいのです。私の通っていた小学校では、広い畑を所有し全校生徒で毎年甘藷を作っていました。春に真っ黒な土を耕し、畝を作りビニールを張り、さつまいもの苗を植えます。夏は、身長ほどに茫々と茂った草に栄養をとられないように、汗をかきかき草取りに励みます。草にまけて足に発疹ができたのも今思えば良い思い出。こうして育てた甘藷を秋に収穫します。手も足も爪の間が真っ黒になりながら芋を掘り、大事に育てた甘藷とご対面！そして丸一日かけて焼き芋大会が開催されるのです。私はこの焼き芋大会が一番好きな行事でした。収穫の終わった畑に穴を掘り、構内を回りせつせと集めた小枝や落ち葉を入れます。そこにアルミホイルに包んだ甘藷と一緒に入れ火をつけて焼きます。こうして焼きあがった甘藷は友達と一緒に食べることでより一層美味しく感じました。

サツマイモは柑橘類にも負けないくらいたっぷりとしながらも熱に強いビタミンCを含んでいます。ビタミン類が風を予防し、ストレスを解消してくれます。食物繊維は便秘や大腸がんを予防します。さつまいもは、天ぷらにしたり、スイートポテトにしたり、味噌汁に入れたり、カレーに入れたり、ご飯と一緒に炊飯器で炊いたり様々な料理に使いますが、私はアルミホイルで包んでストーブで焼いたものが一番好きです。ほくほくと焼きあがったお芋をおいしいちゃんと半分こして食べていると、ここで生まれ育ったことに幸せを感じ、のびのびと育ててくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいになります。さて、今年も美味しい甘藷が私を待っているのでしょうか？是非皆さんも大東の甘藷をご賞味あれ！